

お体の負担を減らそう 配慮した行程の南米

南米は「遠い」、「自分の体力では心配」というお声が寄せられます。
確かに短い日数で、広大な南米大陸をめぐるうとすると、
毎日が移動の連続となり、お体へ負担がかかります。
当ツアーでは、無理なく楽しんでいただけるように以下の点に配慮しました。

配慮その①

十分な休息

強行軍を避け、
航空機の乗り継ぎ地で休息を



2025年6月に新空港が完成。南米の玄関口リマへ(D・E・Fコース)

南米へのフライトは、丸一日近くを要する長旅です。
当社ではあえて、往復ともに乗り継ぎ地での休息時間
を設けています。長時間移動の疲れを引きずらず、体
調を整えておくことは、南米の旅を存分に楽しむため
の大切な準備です。お体を休めながら、南米大陸へ。

- Dコースでは、往復ともにアムステルダムで宿泊
- E・Fコースでは、中米メキシコシティで往路宿泊、復路デユース

配慮その②

うれしい連泊

連泊中心の行程でめぐり、無理な
スケジュールにならないように配慮



イグアスでは2連泊し、ゆったり観光(D・Fコース)

当ツアーでは、連日次の宿泊地への移動となるような
旅程を避け、連泊中心の日程でめぐります。また、都市
間移動のフライトは極力早朝や夜便を利用しないこ
とで、ハードなスケジュールとならないよう配慮して
います。最後までお疲れなく楽しんでいただけるよう、
時には早めにホテルに戻る日や、半
日ほどの休息時間を設けるなどの
工夫をし、お体への負担を軽減して
います。



滞在が思い出となる「塩のホテル」に2連泊(Fコース)

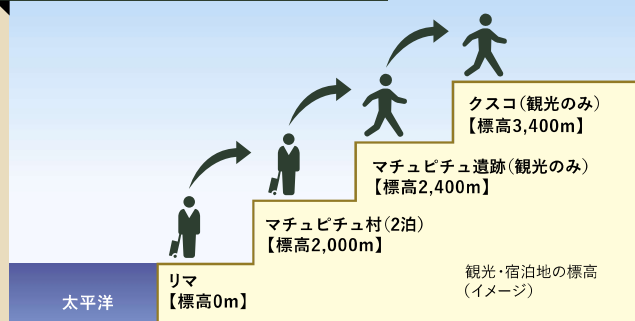
配慮その③

高地対策

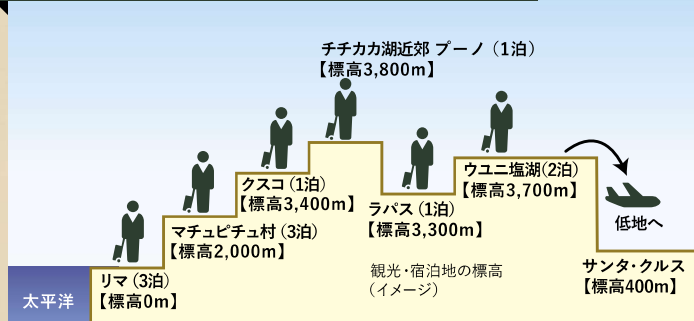
標高に
配慮した行程

南米の旅では、標高への順応が旅を楽しむカギといっても過言ではありません。
標高が低いところから、一気に高地へ上がると、お体への負担が大きくなります。
当ツアーでは、徐々に標高を上げることで、体を高地に慣らしながらご案内します
(ブラジル、アルゼンチン、チリでは特に高所都市はありません)。

D・Eコース／南米周遊・ペルー周遊



Fコース／南米大陸4大絶景グランドジャーニー



※徒歩観光を減らし、よりお体の負担が少ない旅をご希望の方は、Fコース「ゆったり度2で行くペルー」をおすすめします。



マチュピチュ／ペルー



チチカカ湖／ペルー

世界最長の山脈 アンデス山脈



ウユニ塩湖／ボリビア



リオ・デ・ジャネイロ／ブラジル



ペリト・モレノ氷河／アルゼンチン



イグアスの滝／ブラジルとアルゼンチン



ウシュアイア／アルゼンチン



ブエノスアイレス／アルゼンチン

